

# ぼんちん

162 便所



## 薩摩郷句

兼題「腹」

今食たて 腹が減ったち 伸っ盛い  
 (唱) 何ゆば食せてん 満たらん態じゃが 諸木 小春

只焼酎ち 腹一杯飲つ 吐ちよい亭主  
 (唱) 欲と二人で 飲んだとじやろが 満石 江吟

三月腹 貫れ相談ぬば 容易すしつ  
 (唱) 青年ばつかゆば 責めもならんし 上村 牛歩

好かん九九 腹が痛とない 算数嫌れ  
 (唱) 体探いなれば 天下じやいばつ 西ノ園ひらり

腹探ゆ して見た本音ね 気が重し  
 (唱) そげなこつち 苦笑れをしつ 高辻 満天

## 大崎短歌会

抜群の運動神経を誇りし昔 老いたる今は転ばぬように 宮原 のり

入院の姉よろこびぬ園に住む夫の写真リハビリの様子 児玉 チヅ

夢で逢う母は優しくおだやかに笑みて手を振り振り返らずに 高瀬 睦子

生い茂る土手の草刈り枯葉たき幾重の手入れす父祖よりの田に 馬場みさ子

わたくしも遠距離恋愛今日も亦十萬億土に当たてて文書く 大和てるみ

## 大崎俳句会

句座の中菊の香ほのか流れけり 内村美恵子

茗荷汁香る厨に朝陽さす 坂元つる子

廃校の跡何もなき野菊かな 益倉 陸美

糞虫の糸一本に風やさし 宮下 のし

雲流れ月光しばし谷深し 折田 スズ

田の神や稔る穂波に朝日さす 宮脇 洋子

さすらひの旅のしるべが吊し柿 増田 忠明

## ～人権について、考えてみましょう。～

人権啓発  
シリーズ  
10

### 【刑を終えて出所した人の人権】

刑を終えて出所した人や、その家族に対する偏見や差別は根強く、就職に際しての差別や住居等の確保の困難など、社会復帰を目指す人たちにとって現実には極めて厳しい状況にあります。

刑を終えて出所した人などが、地域社会の一員として円滑な社会生活を営むためには、本人の強い更正意欲と併せて、家族・職場・地域社会の理解と協力が必要です。